

有 本 建 男 教 授

役 職：博士課程科学技術イノベーション政策プログラムディレクター、
修士課程科学技術イノベーション政策プログラムディレクター

専門分野：科学技術イノベーション政策・政策史、研究ファンディング制度・マネジメント

学 位：修士（物理化学、京都大学大学院）

略 歴：1974 年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、科学技術庁入庁。科学技術庁研究振興局科学技術情報課長、原子力局廃棄物政策課長、科学技術政策局政策課長、宇宙開発事業団ロス・アンジェルス所長、海洋科学技術センター企画部長、日本原子力研究所広報部長、理化学研究所横浜研究所研究推進部長、内閣府大臣官房審議官（科学技術政策担当）、文部科学省大臣官房審議官（生涯学習政策担当）などを経て、2004 年文部科学省科学技術・学術政策局長。2005 年内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、2006 年から独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター長、2012 年 4 月本学教授（現在に至る）、（兼）科学技術振興機構上席フェロー。

1. 業 績 (A)

(1) 図 書 (共 著)

- * 「次世代ものづくり～高付加価値を生む新しい製造業のプラットフォーム創出に向けて～」、科学技術振興機構・研究開発戦略センター、2016 年 1 月。（取りまとめ総括責任者）。
- * 「第 5 期 科学技術基本計画期間において求められる研究費制度改革 一関連する方策の現状と研究力強化に向けた今後の方向性一」、科学技術振興機構・研究開発戦略センター、2016 年 3 月、（取りまとめ総括責任者）。
- * 「科学技術イノベーション実現に向けた自然科学と人文・社会科学の連携 一21 世紀の社会と科学技術の変容の中で一」、科学技術振興機構・研究開発戦略センター、2015 年 6 月、（取りまとめ総括責任者）。

(2) 雑誌論文

① 単 著

- * 有本建男、論説「21 世紀は科学技術の方法の革新を迫っている」、『化学と工業』Vol.69(3)、p.175-176、日本化学会、2016 年 3 月。
- * 有本建男、「科学技術の変容と 21 世紀のビジョンと思考力」、『情報管理』 Vol.58 No.8、p.623-634、科学技術振興機構、2015 年 11 月号。

② 共 著

- * Y. Sato and T. Arimoto, “Japan”, *UNESCO Science Report—Towards 2030*, UNESCO, November 2015. (査読つき)

(3) 学会発表など

① 学術機関における講演、シンポジウム

- * 招待パネリスト、シンポジウム 2016 「人文・社会科学研究をどのように評価するか」、STS Network Japan、大阪大学、2016 年 3 月 27 日。
- * モデレーター、SciREX セミナー特別版（英国政府主席科学顧問マーク・ウォルポート

- 卿)「英国におけるエネルギー技術予測の取組」、霞ヶ関ナレッジスクエア、2016年3月22日.
- * パネリスト、科学技術振興機構 研究開発戦略センター、シンポジウム「ICTがもたらす新たな社会」、ベルサール秋葉原、2016年2月26日.
 - * オーガナイザー&モデレーター、アメリカ科学振興協会 (AAAS) 年次総会 2016、「A Global Village of Public Engagement in Science」、Washington D.C.、2016年2月14日.
 - * 招待講演、日本学術会議、「学術研究推進のための研究資金制度のあり方に関する検討委員会」、2016年1月15日.
 - * 招待講演、「Japan's next 5 year R&D program」、アメリカ議会図書館、Washington D.C.、2016年1月12日.
 - * 招待講演、文部科学省・先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラムシンポジウム、「組織・部局を越えた本格的産学連携拠点形成の秘訣」、東京大学、2015年12月26日.
 - * 招待講演、「国立大学の学術マネジメントに関する研究会」、文部科学省高等教育局・研究振興局、2015年12月25日.
 - * パネリスト、文科省 WPI プログラム・COINS 国際シンポジウム、「スマートヘルスケアを実現するイノベーションの最前線」、東京大学、2015年11月24日.
 - * 招待パネリスト、同志社大学大学院総合政策科学研究科 20周年記念シンポジウム、「総合政策科学の現在」、2015年11月15日.
 - * モデレーター、「サイエンスアゴラ 10周年記念・国際パネル討論：科学と政治」、科学技術振興機構、国際交流会館、2015年11月13日.
 - * 招待講演、「日本の工学をめぐる政策の歴史と世界との比較」、日本学術会議・総合工学企画分科会、2015年10月29日.
 - * モデレーター、政策研究大学院大学・OECD 共催、国際ワークショップ「科学技術・イノベーションと社会の関わりをいかに測るか：グローバルな視座による議論」、政策研究大学院大学、2015年10月26日.
 - * 招待講演、「科学的助言について」、東京大学政策ビジョン研究センター、2015年9月7日.
 - * 招待パネリスト、国際交流基金・ベルリン日独センター・日本学術会議共催、日独シンポジウム「ダイバーシティが創る卓越性」、日本学術会議、2015年9月4日.
 - * モデレーター、文部科学省 シンポジウム「産学官による未来創造対話」、東京ビッグサイト、2015年8月28日.
 - * 招待講演、「科学と政治」、サントリー文化財団・科学と社会研究会、山の上ホテル、2015年6月8日.
 - * 招待講演、「技術予測と評価の方法」、中国科学技術協会 (CAST) 年次総会、中国・広州、2015年5月22日.
- ② 文部科学省博士課程教育リーディングプログラム等における講義・講演
- * 招待講演、北海道大学博士課程教育リーディングプログラム、「Bridging Science, Society and Politics in the Changing World」、北海道大学、2016年3月11日.
 - * 招待パネリスト、北海道大学博士課程教育リーディングプログラム、パネルディスカッション「A Global Leader in the 21st Century」、北海道大学、2016年3月10日.

- * 招待講演、広島大学リーディングプログラム、Graduate Program Seminar、「Bridging science, society and politics」広島大学東広島キャンパス、2016年2月22日。
- * 集中講義、京都大学大学院思修館、平成27年度「熟議Ⅱ」、2015年5月30日から7月18日。
- * 招待講演、豊橋技術科学大学、プレステージレクチャーズ テーラーメイドバトンゾーン教育プログラム「平成27年度異分野融合特別講義」、2015年6月4日。

2. 教 育

(1) 講 義

- * 科学技術の動向と政策（秋学期）

(2) 論文指導

- * 科学技術イノベーション政策プログラム：博士課程2名（副指導）
- * One-year Master's Program of Public Policy (MP1)：修士課程1名（主指導）

3. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 博士課程委員会
- * 修士課程委員会
- * 博士課程・科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー
- * 修士課程・科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー
- * GRIPS Global Governance Program (G-cube) Committee
- * 研究教育評議会
- * 政策研究院参議会

(2) その他

- * 博士課程・科学技術イノベーション政策プログラム、ディレクター
- * 修士課程・科学技術イノベーション政策プログラム、ディレクター
- * GRIPS 科学技術イノベーション政策研究センター、副センター長
- * JST/GRIPS 講演会（5/28）
- * 第6回 日-EU 科学技術政策フォーラム（10/3）
- * GRIPS SciREX センター発足1周年記念シンポジウム（10/14）
- * GRIPS/OECD ワークショップ（10/26）
- * ASEAN 若手研修（1/19）
- * 科学技術イノベーション政策研究センターワークショップ、シンポジウム（2/22, 23）
- * エビデンスベースの政策形成のための科学技術イノベーション政策形成実務研修
- * GRIPS/SciREX センター/MEXT 共催 SciREX セミナー（科学技術イノベーションセンター）、企画実施

4. 社会的貢献（A）

(1) 国および地方公共団体における審議会等の活動

- * 文部科学省：科学技術学術審議会・研究開発評価部会委員（2007年～）。
- * 文部科学省・科学技術政策研究所：定点調査委員会委員（2007年～）。

- * 内閣府：戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）・自動走行システム推進委員会・プロジェクトディレクター補佐（2014年～）.
- * 内閣府総合科学技術イノベーション会議、一体改革検討ワーキンググループ委員（2014～2015年）.
- * 内閣府総合科学技術イノベーション会議、国際戦略研究会副座長（2015年）.
- * 経済産業省・国土交通省：自動走行ビジネス検討会委員（2014年～）.
- * 外務省「科学技術外交推進会議」委員（2015年～）.

(2) 他大学・研究所等における活動

① 非常勤講師

- * 同志社大学客員教授（2005年～）「科学技術イノベーション戦略」、15コマ/年.
- * 東京理科大学客員教授（2005年～）「科学文化論」、1コマ/年.
- * 早稲田大学客員教授（2008年～）「理工文化論」、3コマ/年.
- * 東京大学非常勤講師（2007年～）「科学技術と社会」、2コマ/年.
- * 東京工業大学非常勤講師（2011年～）「科学技術と社会」、2コマ/年.
- * 京都大学特任教授（2013年～）「科学技術と社会」、8コマ/年.
- * 兵庫県立大学客員教授（2014年～）「科学技術と社会」（英語）、12コマ/年.
- * 東京大学、「科学技術インタープリター養成プログラム」、2015年11月28日.

② 委員会等

- * 広島大学・経営協議会委員（2007年～）、学長選考会議外部委員（2010年～）4回程度/年.
- * 東京大学・政策ビジョン研究センター顧問、（2009年～）1回/年.
- * 東京大学・フotonサイエンス・リーディング大学院外部評価委員（2012年～）3回程度/年.
- * 東京大学高齢化研究機構 外部諮問委員（2012年～）2回程度/年.

(3) 財団法人等における活動

① 役員，委員会

- * 本田財団業務執行理事（2011年～）.
- * キヤノン財団研究助成選考委員（2009年～）、研究課題の審査.
- * 東レ科学振興会評議員（2010年～）.
- * 仁科記念財団評議員（2011年～）.
- * ロッテ財団研究評価委員（2013年～）、研究課題の審査.
- * 武田計測先端知財団・科学技術国際戦略検討委員会委員長（2009年～）、国際政策対話プロジェクト：「アジアにおける科学技術の地域連携」諮問委員会委員（2011年～）.
- * 国際高等研究所副所長（けいはんな文化学術研究都市）（2015年度～）.

(4) 学会等における活動

- * 日本化学会名誉会員（2005年～）.
- * 日本工学アカデミー会員（2006年～）、理事・政策委員（2014年～）.
- * 研究・技術計画学会会員（2012年～）、副会長（2013年～2014年度）、参与（2015年度～）.
- * 科学技術社会論学会会員（2014年～）.
- * 品質工学会会員・監事（2014年～）.

(5) その他

- * OECD「政策形成のための科学的助言」プロジェクト共同議長（2013年～）.
- * 国際科学的助言者ネットワーク（INGSA）プログラム委員会委員（2015年～）.

5. 社会的貢献（B）

(1) ジャーナリズムを通じた発言

① 活字メディア

- * 東日本大震災5年へ 問われる科学「信頼回復 熱を失う学界」、有本建男、朝日新聞朝刊、2015年9月10日.
- * 論点「政策には科学的根拠必要」、有本建男、読売新聞朝刊、2015年7月10日.
- * 「期待高まる自然科学と人文・社会科学の連携」、有本建男、日本経済新聞夕刊、2015年4月23日.